

タイトル『青の数学』

著者： 王城 夕紀 出版社： 新潮文庫

見た数字を覚えることの出来る少年栢山が幼少期の数学の先生 柊(キフユ)との約束「数学をずっとやり続ける」を守り、高校のときに数学オリンピックに出る。その道で、オリンピックを制した少女 京と出会う。「数学、何?」京に問われ、栢山は数学をやり続ける理由を探し始める。数学オリンピック一回戦で敗けた栢山は、 E^2 という対戦式の数学を知り、たくさんの人と出会い、約束、問いにっって考えていく...

ひたむきな想いを身体に燃える熱を数学へぶつける少年少女たちを描く青春小説。

ぜひ読んでください!

投稿日 R.1年 10月 30日

ペンネーム(本名は書かないでね!)

R

年齢

14

仙台市

図書館 YAコーナ